

# 一宮市 DX 推進計画

一宮市

2025 年 3 月

## 改訂履歴

施行年月日	版番号	改訂内容等
2021年4月1日	1.0版	初版（2021年4月1日）
2022年2月14日	1.1版	4章 一宮市官民データ活用推進計画の推進体制の修正 7章 一宮市DX推進計画に関する記述を追記 一宮市DX推進計画の追加（2022年2月14日）
2023年3月31日	1.2版	一宮市DX推進計画を一宮市官民データ活用推進計画の一部としていることから、名称を一宮市官民データ活用推進計画・一宮市DX推進計画に改め、第1部を一宮市官民データ活用推進計画、第2部を一宮市DX推進計画と再編成しました。 第1部4章 一宮市官民データ活用推進計画の推進体制の修正 第2部一宮市DX推進計画の修正（2023年3月15日）
2023年5月1日	1.3版	一宮市デジタル推進本部設置要綱の改正に伴う、4章 一宮市官民データ活用推進計画の推進体制の修正（2023年5月1日）
2024年3月29日	1.4版	第1部一宮市官民データ活用推進計画と第2部一宮市DX推進計画を分離しました。また、第2部一宮市DX推進計画の記載を、最新のものに更新しました。
2025年3月31日	1.5版	一宮市DX推進計画の記載を、最新のものに更新しました。

# 目次

1.	一宮市 DX 推進計画の概要 .....	1
2.	一宮市 DX 推進計画のスケジュール.....	2
3.	一宮市 DX 推進計画における取組事項.....	5
4.	一宮市 DX 推進計画における個別施策.....	10

## 1. 一宮市 DX 推進計画の概要

---

総務省は、「デジタル・ガバメント実行計画」（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）における自治体関連の各施策について、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめ、「自治体 DX 推進計画」及び「自治体 DX 推進手順書」を策定しました。また、2021 年 5 月には、デジタル社会形成基本法、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律を含めたデジタル改革関連法が成立・公布されました。2021 年 6 月には、「デジタル社会の実現に向けた重点計画（以下「重点計画」という。）が閣議決定され、重点計画においては、デジタル化の基本戦略として、「デジタル社会の実現に向けた構造改革」及び「デジタル田園都市国家構想の実現」が掲げられました。これら両戦略を盛り込み 2022 年 9 月に「自治体 DX 推進計画」「DX 推進手順書」が改訂（第 2.0 版）されました。その後、2023 年 11 月には 2.1 版、2023 年 12 月には 2.2 版、2024 年 2 月には 2.3 版、2024 年 4 月には 3.0 版が公表されました。

自治体 DX 推進手順書には、自治体が自治体 DX 推進計画を踏まえて、着実に DX に取り組むための様々な事項が示されています。

一宮市 DX 推進計画では、本市の DX 推進のために取り組む事項とその工程表を取りまとめました。

「2. 一宮市 DX 推進計画のスケジュール」では、一宮市 DX 推進計画の全体の工程表と、該当する個別施策をそれぞれ記載しています。

「3. 一宮市 DX 推進計画における取組事項」では、DX を推進する上で取り組むべき事項と進捗状況を記載しています。

「4. 一宮市 DX 推進計画における個別施策」では、各施策の概要、導入状況や今後の予定について記載しています。

## 2. 一宮市 DX 推進計画のスケジュール

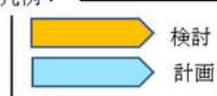
自治体DXの重点取組事項

取組事項	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	一宮市DX推進計画 個別施策 (2025年3月末現在)
(1)自治体フロント ヤード改革の推進		WG*1設置(R3)・オンライン申請/決済	オンライン申請管理システム(構築)(R4) 運用開始	転出転入ワンストップサービス 導入(R4)	書かない窓口(スマート窓口)・顔認証システム	①あいち電子申請・届出システム ②びったりサービス(マイナンバー) ③あいち電子調達共同システム ④一宮市スポーツ・公園施設予約システム ⑤図書館検索システム ⑥住民票等のコンビニ交付 ⑦書かない窓口(スマート窓口) ⑧地方税共通システム(eLTAX)による電子申告 ⑨ウェブ口座振替受付サービスの導入 ⑩いちのみや子育て支援サイト ⑪いちのみや子育て支援アプリの導入 ⑫138おやこ手帳アプリの導入 ⑬デジタル市役所の実現 ⑭一宮市文化指定管理施設予約システム ⑮座席予約システム ⑯市県民税の税額試算・申告書作成 ⑰各種損傷通報システム
(2)自治体情報システム の標準化・共通化		WG*1設置(R3)・検討・予算化	基幹業務システム 標準化	統合仮想 化基盤 (構築)	統合仮想化基盤(運用)	①自治体クラウドの導入 ②自治体の情報システムの 標準化・共通化
(3)公金収納におけ るeLTAXの活用			総合行政システム 改修	標準システム移行 (対象20業務)	ガバメントクラウド*2 移行(対象20業務)	①キャッシュレスの推進 ②公金納付書への地方税統一 QRコードの導入
(4)マイナンバー カードの普及促進 ・利用の推進	普及促進	交付場所追加・普及促進(継続)	検討 応募	基幹業務パソコン更新 (標準化対応・顔認証)	システム 改修	①マイナンバーカードの交付 ②PMH(Public Medical Hub) 先行事業

※1: ワーキンググループのこと

※2: ガバメントクラウドとは、国が構築するクラウドサービスです。  
迅速、柔軟、かつセキュアでコスト効率の高いシステムを構築可能としています。

凡例:



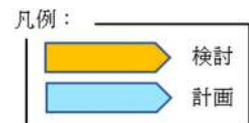
(5)セキュリティ対策の徹底		①あいちセキュリティクラウドの利用
(6)AI・RPAの利用推進		①AI多言語翻訳機 ②RPA (Robotic Process Automation) の導入 ③AI-OCRの導入 ④AI電話自動応答サービス ⑤生成AIの利用 ⑥AI議事録作成システムの導入 ⑦AIを活用した舗装診断
(7)テレワークの推進		①テレワークの導入

※3: セキュリティ・クラウドのこと

自治体DXの取組みとあわせて取り組むデジタル社会の実現に向けた取組

取組事項	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	一宮市DX推進計画 個別施策 (2025年3月末現在)
(1)デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化					 	①5Gアンテナ基地局ワンストップ窓口 ②地域BWA ③一宮市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」 ④バスロケーションシステムの導入 ⑤一宮市版MaaSサイト「イッテミ〜ヤ」のサービス提供 ⑥コンソーシアムの発足 ⑦データ連携基盤の導入 ⑧健康支援アプリの導入 ⑨防災アプリの導入 ⑩スマートロックの導入
(2)デジタルデバイス対策						①フリーWi-Fiサービス ②市ウェブサイト等のWebアクセシビリティ ③あんしん・防災ねっと(災害時緊急メール) ④Net119緊急通報システム ⑤救急ボイストラ ⑥GIGAスクール構想整備事業 ⑦小中学校のプログラミング教育 ⑧通訳タブレット ⑨顔認証システム ⑩字幕表示システムの導入
(3)デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し						①デジタル原則に基づく条例等の改正

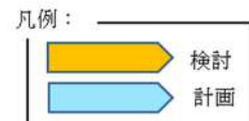
※4: ブロードバンド・ワイヤレス・アクセスのこと



必要に応じ実施を検討する取組

取組事項	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	一宮市DX推進計画 個別施策 (2025年3月末現在)	
(1) BPRの取組	押印廃止 (R2) ・ 対面見直し					電子契約	①押印廃止 ②オンライン会議システムの導入 ③保育業務支援システム ④介護認定電子審査システムの導入 ⑤電子契約システムの導入 ⑥災害時ドロウンの導入
(2) オープンデータ推進	一宮市オープンデータカタログサイトの充実						①一宮市オープンデータカタログサイト ②写真カタログサイト ③一宮市子育てオープンデータサイト ④子育て写真カタログサイト ⑤一宮市地図情報サイト「138マップ」
(3) デジタル人材の確保・育成	デジタル人材の確保						①デジタル実務経験者の採用 ②デジタル人材の育成
(4) 統合型GISの活用	WG <sup>※5</sup> 設置・検討						①GIS検討ワーキンググループの設置
	LGWAN-ASP移行						
(5) 推進計画	一宮市官民データ活用推進計画・一宮市DX推進計画						①官民データ活用推進計画の策定 ②DX推進計画の策定
(6) その他							①業務記録システムの導入 ②公用車にドライブレコーダーを設置 ③生活道路交通安全対策事業 ④いちのみや健康マイレージアプリの導入 ⑤例規検索システム ⑥環境施設管理システム ⑦河川等水位情報

※5：ワーキンググループのこと



### 3. 一宮市 DX 推進計画における取組事項

#### ▶自治体 DX の重点取組事項

##### (1) 自治体フロントヤード改革の推進

今後、少子高齢化・人口減少が進み、行政資源が制約されていく一方、住民の生活スタイルやニーズが多様化している中においては、行政手続のオンライン化だけでなく、「書かないワンストップ窓口」など、住民と行政との接点（フロントヤード）の改革を進めていく必要があります。これにより、住民サービスの利便性向上と業務の効率化を進め、企画立案や相談対応への人的資源のシフトを促し、持続可能な行政サービスの提供体制を確保していくことが重要です。

多様な住民ニーズに対応するためには、デジタルツールを有効に活用し、対面・非対面の対応を適切に組み合わせ、庁舎はもとより、自宅に加え住民に身近な場所でも対応可能とするなど、住民との接点の多様化・充実化（オムニチャネル化）を図る必要があります。

一宮市では、2021 年度に行政手続のオンライン化に関するワーキンググループを設置し、2022 年度にはマイナポータルと基幹システムでデータ連携を可能とするオンライン申請管理システムを導入し、マイナポータルを利用したオンラインによる転出届、転入・転居予約を開始し、転入、転出届等において、タブレット端末を利用した書かない窓口（スマート窓口）を開設しました。2023 年度には新たな電子申請システムを導入し、キャッシュレスに対応した取組、申請・届出・イベント申込、オンライン予約の積極的な活用に引き続き取り組んでいます。

##### (2) 自治体情報システムの標準化・共通化

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第 8 条により、標準化対象事務のシステムは標準システムを利用しなければならないこととされています。また、重点計画において、その目標時期は 2025 年度とされています。

国は政府共通のクラウドサービスの利用環境であるガバメントクラウドを整備することとしています。地方公共団体情報システムの標準化に関する法律第 10 条及び重点計画において、標準システムもガバメントクラウド上で運用することを推奨しています。

一宮市では、2021 年度にシステム標準化に関するワーキンググループを設置し、2025 年度を目標時期としガバメントクラウド上に構築された標準システムへの移行を計画しています。2023 年度には、標準化対応の一環として基幹業務パソコンを更新するとともに、顔認証システムを導入しセキュリティの強化を行いました。

### **(3) 公金収納における eLTAX の活用**

eLTAX は、インターネットを利用して地方税に係る手続を電子的に行うシステムです。複数団体に対する電子申告・電子納税を一括で行うことができるほか、地方団体と国税当局間の情報連携に活用されています。2023 年 4 月から「地方税統一 QR コード(eL-QR)」を用いた仕組みによる地方税の電子納付が始まっていますが、その他の公金についても 2026 年 9 月から eLTAX を活用した公金納付ができるよう、国による検討が進められています。

### **(4) マイナンバーカードの普及促進・利用の推進**

マイナンバーカードは、オンラインで確実に本人確認ができ、デジタル社会の基盤となるものであることから、積極的な実施により申請を促進します。現在でも、本人確認書類としての利用はもとより、オンラインでの確定申告、各種証明書やコンビニ交付サービスなど様々な利活用がされていますが、国としてはマイナンバーカードの更なる利活用として、健康保険証としての利用の推進、公金受取口座の登録、運転免許証との一体化に加え、在留カードとの一体化に向けた準備を進めています。

一宮市では、マイナンバーカードの申請に必要な QR コード付き交付申請書の郵送手続きをオンライン化し、マイナンバーカードの受け取りについても交付窓口の拡充を行っています。また、平日にカードの受け取りが困難な方向けには尾張一宮駅前ビル（i-ビル）1 階いちのみや駅ナカプラザにおいて土曜日・祝休日に交付窓口の開設（事前予約制）を行っています。また、2025 年度からは日曜日も対応予定です。2022 年度にはマイナンバーカードのオンライン申請補助端末（タブレット）の導入や、補助端末を活用した出張申請サポート、マイナポイントの設定サポートなどを実施しています。

また、一宮市はデジタル庁が実施する PMH (Public Medical Hub) 実証事業に参加することで、マイナンバーカードを医療費受給者証として利用できる環境を整備しています。

### **(5) セキュリティ対策の徹底**

国が示す情報セキュリティポリシーに関するガイドラインを踏まえ、情報セキュリティ対策の徹底に取り組みます。

一宮市では、2022 年度に地方公共団体における情報セキュリティポリシーガイドライン（令和 2 年 12 月版）で規定されたセキュリティレベルを満たす次期あいちセキュリティクラウドへの接続を完了しました。

また、地方公共団体における情報セキュリティポリシーガイドラインの改定にともない、一宮市情報セキュリティポリシーの改定も行います。

## (6) AI・RPAの利用推進

AI や RPA などのデジタル技術は地方公共団体の業務を改善する有力なツールです。AI-OCR 及び RPA は既に全庁的な利用環境が整備されており、持続可能な行政運営を目指し、さらなる活用を推進します。

一宮市では、RPA を 2019 年度から、AI-OCR、チャットボット、AI 多言語翻訳機は 2020 年度から継続して活用しています。2023 年度には AI 電話自動応答サービスを利用した申告相談会場の予約受付を行いました。また、2024 年度からは LGWAN 環境内で利用できる生成 AI サービスの利用を開始しました。

## (7) テレワークの推進

テレワークは、ICT を活用して時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、職員一人ひとりのライフステージに合った多様な働き方を実現できる「働き方改革」の取組とし、セキュリティ対策を強化しつつ、テレワークの活用に取り組みます。

一宮市では、2020 年度から地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が提供する自治体テレワークシステム for LGWAN の実証実験に参加しテレワークを実施しています。

## ▶自治体 DX の取組とあわせて取り組むデジタル社会の実現に向けた取組

### (1) デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装の取組の推進・

#### 地域社会のデジタル化

国は「デジタル田園都市国家構想基本方針」（令和 4 年 6 月閣議決定）において、地方においては地方公共団体が中心となり自ら目指すべき理想像を描き、そこに向けて取り組みを進めるよう求めており、デジタル技術を活用することにより、高齢者、障害者等も含め住民や地域社会等にとって「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を実現し、住民の誰もがデジタル化によるメリットを享受できる、地域社会のデジタル化を推進します。

一宮市では、2021 年度に市域における 5G の早期普及を目指し、通信事業者の基地局設置場所の候補地として市が所有する土地や建物情報を公開し、通信事業者の手続き場所としてワンストップ窓口を開設しています。また、2018 年度に地域の公共の福祉の増進に寄与するものとして、地元ケーブルテレビ局における地域 BWA<sup>\*</sup>の取得の同意、推進を行っています。

2024 年度にはデータ連携基盤(都市 OS)の構築に加え、健康支援アプリ、子育て支援アプリを導入しました。また、市内全ての中学校の体育館、一部の武道場にスマートロック（電子錠）を導入しました。

※地域 BWA とは地域の公共の福祉の増進などを目的として市町村単位で利用可能な無線通信システムのことです。

## (2) デジタルデバイド対策

情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律第 12 条第 2 項において、地方公共団体は、国が講ずる施策に準じて、デジタルデバイドの是正を図るために必要な施策を講ずるよう努めなければならないとされています。デジタル技術の利活用により、誰も取り残さない形で、デジタル化の恩恵を広くいきわたらせていく環境の整備に取り組みます。

一宮市では、2021 年度に市内公民館等で高齢者向けスマートフォン教室を開催しました。2022 年度は県の高齢者デジタルサポーター事業を活用し講師の派遣を行っています。また、顔認証を利用した入退室管理システムを総合体育館トレーニングルームに導入しました。

## (3) デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し

政府において 2021 年 11 月に内閣総理大臣を会長とする「デジタル臨時行政調査会」が創立され、「構造改革のためのデジタル原則」を共通の指針とし、この原則に沿って、4 万以上の法令等を対象にアナログ規制を横断的に見直し、規制・制度のデジタル原則への適合の実現を目指しています。

また、一宮市ではオンライン手続推進のため、一宮市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例、条例施行規則を改正しています。

## 必要に応じ実施を検討する取組

### (1) BPR の取組

書面規制、押印、対面規制について、各府省から発出されるガイドライン等の内容を踏まえ適切に対応するとともに、一宮市独自に実施する手続についても、業務改革（BPR）の見直しを進めています。

一宮市では、2025 年度に電子契約サービスの利用開始を予定しており、契約事務における押印廃止、ペーパーレス化による事務の効率化を図ります。

### (2) オープンデータ推進

データ利活用の重要性が急速に増大する中でデータ等が経済社会活動に与える意義や、考え方が変化しています。また、オープンデータの取組は行政の高度化・効率化・透明性の向上とともに、民間における創意工夫を生かした多様なサービスの迅速かつ効率的な提供、官民協働での諸課題の解決、これらを通じた産業の国際競争力の強化や社会全体の生産性向上に資するものです。そのためサイバーセキュリティや個人情報の適正な取扱いを確保しつつ、公共データの公開及び活用を進めるものとされています。

一宮市では、2016 年度にオープンデータカタログサイトを公開し、写真カタログサイトを公開するなど充実を図ってきました。今後も地方公共団体向けのガイドライン・手引書、「自治体標準オープンデータセット」等を参考にオープンデータの推進に取り組んでいきます。また、2017 年度より名古屋大

学と ICT 活用ワーキンググループを発足し、オープンデータに関する分科会を設立し名古屋大学と市とで情報共有などを行っています。その他にも、地域情報化アドバイザー制度を利用し内部人材の育成を進めています。2022 年度には分科会の活動で国際芸術祭「あいち 2022」の一宮市会場のデータをオープンデータとして公開し、中京大学と官学協働し、オープンデータを活用した来訪者向けウェブサイトが公開されました。

### **(3) デジタル人材の確保・育成**

DX 推進のために自治体が取り組むべき事項を着実に実施するために、推進体制を構築することが望ましいとされています。

一宮市では、2022 年度に CIO（最高情報統括責任者）補佐監に外部からデジタル人材を登用しました。職員の育成として、若手職員を中心に「ICT リーダー」を任命し、各課におけるデジタル化を推進しています。また、2023 年度には管理職を「ICT マネージャー」に任命し、行政のデジタル化を加速します。加えて、目まぐるしく変化する社会情勢に対応するため、職員のリスキリング（学びなおし）を促進します。2024 年度からは、人事課が主催する階層別研修において、入職 5 年目程度の職員に対する DX 研修を開催し、若手職員への DX の意識醸成に努めています。

### **(4) 統合型 GIS の活用**

地理空間情報活用推進基本法第 14 条の規定により、地方公共団体は地理情報システムの利用の拡大等の施策を講ずることとされています。地理情報システム（GIS）とは、電子地図上でデジタル化された地理空間情報を一体的に処理して視覚的な表現や高度な分析を行うシステムであり、的確な情報分析に基づく迅速な判断が可能となります。

一宮市では、庁内で横断的に利用している統合型 GIS の活用を促進し、住民サービスの向上、庁内の業務の効率化・高度化を目指していきます。また、2022 年度にはクラウドサービス利用型（LGWAN-ASP）に移行しました。

### **(5) 推進計画**

一宮市では、官民データ活用推進基本法第 9 条第 3 項に基づく基本的な計画として、2021 年度に一宮市官民データ活用推進計画を策定しました。また、2024 年度からは、一宮市官民データ活用推進計画と一体の計画としていた DX 推進計画を独立した計画とし、引き続き、国の関連施策と整合性をとりつつ、一宮市が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化するとともに、取組を着実に推進していきます。

## 4. 一宮市 DX 推進計画における個別施策

### ➤自治体 DX の重点取組事項

#### (1) 自治体フロントヤード改革の推進

No.	取組事項	取組内容
①	あいち電子申請・届出システム	あいち電子自治体推進協議会により運営されており、オンライン申請が可能な手続に関して随時登録を行っています。住民票の写しの交付申請などのオンライン手続が可能です。2022 年度には一部手続きでキャッシュレス決済を開始しています。2023 年度は 120 手続き、15,278 件の申請がありました。
②	ぴったりサービス (マイナポータル)	子育て、介護分野、防災分野（災害時の罹災証明申請書の受付）などのオンライン手続が可能です。2023 年度は 47 手続き、1,182 件の申請がありました。
③	あいち電子調達共同システム	あいち電子自治体推進協議会が運営し、物品、工事の入札に関してインターネットを通じて電子入札を行っています。また、入札参加資格者に関するインターネットを通じて電子申請を行っており、入札情報、入札参加資格者情報をシステムにて公開しています。
④	一宮市スポーツ・公園施設予約システム	市スポーツ施設及び市公園施設等の予約、抽選を行っています。施設の空き状況等もインターネットを通じて確認できます。
⑤	図書蔵書検索システム	市立図書館の蔵書がインターネットを通じて予約できます。蔵書の有無、貸出状況等もインターネットを通じて確認できます。
⑥	住民票等のコンビニ交付	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写し、所得課税（非課税）証明書のコンビニ交付を行っています。
⑦	書かない窓口（スマート窓口）	転入、転出等にかかる住民異動届や、同時に提出される申請書をタブレット端末に入力することで受付・作成できます。
⑧	地方税共通システム (eLTAX) による電子申告	給与支払報告書、法人市民税申告書、事業所税申告書等について、地方税共通システム (eLTAX) でのオンライン提出が可能です。
⑨	ウェブ口座振替受付サービスの導入	利用者の利便性向上と事務の効率化を図るため、2024 年 10 月から、口座振替の申し込みから金融機関の承認までの手続きを、ウェブ上で印鑑レス・ペーパーレスで行えるようにしています。
⑩	いちのみや子育て支援サイト	いちのみや子育て支援サイトで子育てに関する情報を公開し、掲載している情報をオープンデータとしても公開しています。また、一部のイベントの申し込みもウェブサイトから受け付けています。
⑪	いちのみや子育て支援アプリの導入	いちのみや子育て支援アプリを公開しています。アプリを利用することにより、日々の子育ての記録を行ったり、イベント情報やよくある相談内容をプッシュ通知にて受け取ることができるなど、様々な子育て支援を行っています。また、一部のイベントの申し込みもアプリから受け付けています。

⑫	138 おやこ手帳アプリの導入	子どもの成長記録、一宮市の子育て情報の入手や予防接種の管理が容易にでき、妊娠・子育て期に役立つ「138 おやこ手帳アプリ」を、2024年度から公開しています。また、一部のイベント等の申し込みもアプリから受け付けています。
⑬	デジタル市役所の実現	行政手続オンライン化 100%を目指しオンライン化を推進していきます。2023年度より新たな電子申請サービスを導入するとともに、行政手続きのオンライン化調査を継続的に行っています。
⑭	一宮市文化指定管理施設予約システム	インターネットを通じて、文化指定管理施設の空き状況等の確認及び予約、キャッシュレス決済を行っています。
⑮	座席予約システム	中央図書館の学習室の空き状況をオンラインで閲覧及び予約できるようにしています。
⑯	市県民税の税額試算・申告書作成	給与・年金所得の源泉徴収票等を見ながら入力することにより個人市民税・県民税の税額が試算できます。入力した収入・所得、所得控除の情報を基に市民税・県民税申告書を作成し、自宅のプリンターからプリントして提出することができます。
⑰	各種損傷通報システム	スマートフォンなどから写真や位置情報を送信することで、公共物の損傷等を通報することができます。2023年度からは、道路及び公園の遊具、2024年度からは道路上の漏水及び管理不全の空き家の通報もできるようにしています。(道路：みちレポ 138、公園：パークレポ 138、漏水：水レポ 138、空き家：空き家レポ 138)

## (2) 自治体情報システムの標準化・共通化

No.	取組事項	取組内容
①	自治体クラウドの導入	業務システムの一部でクラウド利用をしており、今後の国の動向に注視しながら、自治体クラウド導入を検討しています。
②	自治体の情報システムの標準化・共通化	標準化対象システム(20業務)において、2025年度の標準システムへの移行を目標に、システム選定及び調達事務並びにガバメントクラウドへの移行の検討を進めています。

## (3) 公金収納における eLTAX の活用

No.	取組事項	取組内容
①	キャッシュレスの推進	オンラインによる電子納税への対応や、インターネットを利用したクレジットカード決済やスマートフォンアプリを利用した納税、クレジットカード、電子マネー、二次元コードによる窓口での証明書交付手数料等の納付を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方税共通システム (eLTAX)</li> <li>・ 市税等</li> <li>・ 窓口での証明書交付手数料等</li> <li>・ あいち電子申請・届出システム</li> </ul>

#### (4) マイナンバーカードの普及促進・利用の推進

No.	取組事項	取組内容
①	マイナンバーカードの交付	マイナンバーカードの交付を市役所本庁舎、尾西庁舎、木曽川庁舎で行い、いちのみや駅ナカプラザでは土曜日・祝休日交付にも対応し早期普及に努めています。2025年度からは日曜日も対応予定です。また、2025年2月末時点でのマイナンバーカード保有枚数は306,675枚(81.0%)です。
②	PMH (Public Medical Hub) 先行事業	一宮市と一宮市立市民病院は、デジタル庁が実施している「医療費助成・予防接種・母子保健分野等でのマイナンバーカードを活用したデジタル化の推進 (PMH)」の先行事業に2023年度から参加しています。健康保険証と同じようにマイナンバーカードを医療費受給者証として活用することができます。2024年度からは対象事業を拡大しています。

#### (5) セキュリティ対策の徹底

No.	取組事項	取組内容
①	あいちセキュリティアクラウドの利用	あいちセキュリティアクラウドを利用しインターネットを行うことにより、セキュリティの確保や専門人材による監視が行われています。

#### (6) 自治体の AI・RPA の利用推進

No.	取組事項	取組内容
①	AI 多言語翻訳機	外国人のために「AI 多言語翻訳機」を導入し、通訳者を必要としない、簡易なコミュニケーションが必要な時に利用しています。
②	RPA (Robotic Process Automation) の導入	パソコンの操作を自動化するソフトを導入し、職員の育成を行うことで、事務の効率化を図るとともに費用の低減を進めています。
③	AI-OCR の導入	あいち AI・ロボティクス連携共同研究会により調達された AI-OCR を県内他市町村と共同で利用し、導入しています。
⑤	AI 電話自動応答サービス	申告相談会場の予約受付において、24 時間対応可能な AI 電話自動応答サービスを実施しています。
⑤	生成 AI の利用	2024 年度から、生成 AI の一つである ChatGPT の本格的な利用を開始しました。
⑥	AI 議事録作成システムの利用	音声データから自動で文字起こしをすることで議事録作成を省力化できるサービスを、2025 年度から導入する予定です。
⑦	AI を活用した舗装診断	舗装点検の確実性を高めるため、車両にスマートフォンを搭載し、連続撮影した画像から道路の路面状態を AI 解析で自動判定する新技術を、2025 年度の導入に向け検討を進めています。

#### (7) テレワークの推進

No.	取組事項	取組内容
①	テレワークの導入	働き方改革と新しい生活様式の確立のため、テレワークシステムを導入し職員がテレワークを開始しています。

## ➤自治体 DX の取組とあわせて取り組むデジタル社会の実現に向けた取組

### (1) デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化

No.	取組事項	取組内容
①	5G アンテナ基地局ワンストップ窓口	5G のアンテナを設置するために市が所有する土地や建物情報を公開し、また通信事業者の手続き場所としてワンストップ窓口を開設しています。
②	地域 BWA	地域の公共の福祉の増進に寄与するため、地元ケーブルテレビ局における地域 BWA を推進しています。
③	一宮市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」	ごみの分別区分や収集日を調べることができるスマートフォン向けアプリを公開しています。また、スマートスピーカー（一部の機種に限る）に対応し、音声による案内にも対応しています。
④	バスロケーションシステムの導入	運行事業者のバスロケーションシステムにより、i バスのリアルタイムな運行情報を公開しています。
⑤	一宮市版 MaaS サイト「イッテミーヤ」のサービス提供	バスのデジタルチケットの購入・タクシーの予約・最適ルートの検索など、移動に関する機能を MaaS サイトに集約しました。スマホを使って市内をスムーズに移動できる、お出かけをもっと便利に、もっと自由にするサービスを開始しています。
⑥	コンソーシアムの発足	地域課題解決のために産学官連携によるコンソーシアム「一宮スマートシティ推進協議会（愛称：i-スマ）」を 2024 年 7 月に発足しました。今後 i-スマ で様々なサービスを検討していきます。
⑦	データ連携基盤の導入	様々なデータを横断的に収集、連携が可能なデータ連携基盤（都市 OS）を 2025 年 2 月に導入しました。市が提供しているアプリなどのデジタルサービスの入り口で、共通 ID でサービス連携が可能なポータルサイト「イチ・デジ」も併せて公開しました。
⑧	健康支援アプリの導入	市民の健康増進への意識を向上させ、健康寿命の延伸を図るとともに、医療費を含む社会保障給付費の増加抑制を目的に、2024 年度から健康支援アプリ「kencom」の運用を開始しました。
⑨	防災アプリ	一宮市ポータルサイト「イチ・デジ」と連携する防災アプリについて、2025 年度の導入・運用開始にむけて検討を進めています。
⑩	スマートロックの導入	2024 年度から、市内全ての中学校の体育館、一部の武道場にスマートロック（電子錠）を導入しました。 連携した施設予約システムから携帯電話などで暗証番号を受け取り、開錠することができます。

## (2) デジタルデバイド対策

No.	取組事項	取組内容
①	フリーWi-Fi サービス	災害時の情報提供などを目的に、公共施設等に「いちのみやフリーWi-Fi」の整備を行っています。2024年度末時点で107のアクセスポイントを設置すると共に施設専用のフリーWi-Fi サービスを開始しています。
①	市ウェブサイト等のWebアクセシビリティ	誰もが一宮市の情報を取得できるよう、市ウェブサイトでの検索性を高め、文字拡大や音声読み上げにも対応したページ作りをしています。
②	あんしん・防災ねっと (災害時緊急メール)	災害時の緊急情報などを発信しています。日本語での配信に加え、英語・中国語・ポルトガル語・韓国語でも配信しています(気象庁から発表される気象情報及び地震情報のみ)
③	Net119 緊急通報システム	会話に不自由な障害者を対象にスマートフォン等のGPS測位機能を利用し、音声によらない119番通報を可能にするシステムを運用しています。
⑤	救急ボイストラ	外国人傷病者とのコミュニケーションにスマートフォン等を利用した音声と文字によるコミュニケーションが可能な多言語翻訳アプリ「救急ボイストラ」を利用しています。
④	GIGA スクール構想整備事業	国のGIGAスクール構想の実現に向け、全小中学校に1人1台分の端末及びネットワーク環境の整備を行いました。
⑦	小中学校のプログラミング教育	ICT 端末等を活用しプログラミング体験を行うことにより、論理的思考力や問題解決能力を身に付けるよう学習を進めています。
⑧	通訳タブレット	外国人のために「テレビ電話による通訳サービス」を導入し、タブレット画面に映し出された通訳者を介して詳細なコミュニケーションをとっています。また、聴覚障害者に対しても、タブレット画面を介して本庁舎障害福祉課内手話通訳者との手話通訳サービスを導入しています。
⑨	顔認証システム	総合体育館トレーニングルームの入退室にあたり、利用者の受付手続き・体温測定を簡略化及び非接触化するため、システムを導入しています。
⑩	字幕表示システムの導入	2024年度から聴覚に障害がある方や聞き取りづらい方、または外国語への対応として、音声をリアルタイムで認識し、文字等をモニターに表示するシステムを導入することで、会話の聞きづらさを解消し、窓口でのコミュニケーションを円滑にするために利用しています。

## (3) デジタル原則に基づく条例等の規制の点検・見直し

No.	取組事項	取組内容
①	デジタル原則に基づく条例等の改正	一宮市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例を改正し、2023年4月1日に施行しました。

## ➤必要に応じ実施を検討する取組

### (1) BPR の取組

No.	取組事項	取組内容
①	押印廃止	各府省から発出されるガイドライン等の内容を踏まえ適切に対応します。
②	オンライン会議システムの導入	働き方改革と新しい生活様式の確立のため、オンライン会議用の端末、広角カメラ、ビジネス用会議スピーカーを導入し、オンライン会議を行っています。
③	保育業務支援システム	保育業務支援システムを活用し、園児の登降園の管理、保護者アプリを利用したお知らせや連絡帳の配信などを行っています。
④	介護認定電子審査会システムの導入	2023年度にシステムを導入し、要介護度の判定を行う介護認定審査会における資料を電子化しました。審査会委員が事前審査に使用する資料の電子化により、郵送費用の削減や、郵送準備における事務負担の軽減を図っています。また、審査会委員による事前の審査結果の把握方法を、FAXからシステムへの登録に変更しています。
⑤	電子契約システムの導入	2025年10月から導入予定。押印廃止・ペーパーレス化を推進し事務の効率化を図ります。
⑥	災害時ドローンの導入	災害発生現場上空からの空撮を業者委託により実施しています。撮影したライブ映像を現場指揮本部と情報共有及び撮影した映像データの提供をさせ、事後の活動検証等の教養資料として使用しています。

### (2) オープンデータ推進

No.	取組事項	取組内容
①	一宮市オープンデータカタログサイト	市が保有するデータを一宮市オープンデータカタログサイトに公開しています。また、i-バスの運行ルートや時刻表、バス停の位置等のGTFS情報をGoogleマップに公開しています。
②	写真カタログサイト	市が保有する写真データからオープンデータに適したものを選定し、写真カタログサイトに公開しています。
③	一宮市子育てオープンデータサイト	いちのみや子育て支援サイトに掲載されている情報をオープンデータとして公開しています。
④	子育て写真カタログサイト	子育て世帯にとって魅力となる市内公共施設の情報を共有するため、市が保有する写真や公募した写真を子育て写真カタログサイトで公開しています。
⑤	一宮市地図情報サイト「138マップ」	市内の公共施設等を地図情報で発信しています。

### (3) デジタル人材の確保・育成

No.	取組事項	取組内容
①	デジタル人材の確保	CIO補佐監として外部人材を登用しました。

②	デジタル人材の育成	若手職員を ICT リーダー、管理職を ICT マネージャーに任命し、各課におけるデジタル化を推進しています。また、職員の学びなおしを目的に「リスキリング」の促進もしています。
---	-----------	--

#### (4) 統合型 GIS の活用

No.	取組事項	取組内容
①	GIS 検討ワーキンググループでの検討	市で利用している統合型 GIS の活用を促進し、住民サービスの向上、内部事務の効率化や高度化を目指し検討していきます。2022 年度にワーキンググループを設立し、検討を継続しています。

#### (5) 推進計画

No.	取組事項	取組内容
①	官民データ活用推進計画の策定	一宮市官民データ活用推進計画を策定しました。
②	D X 推進計画の策定	一宮市 D X 推進計画を策定しました。

#### (6) その他個別施策

No.	取組事項	取組内容
①	業務記録システムの導入	本庁舎内の一部の窓口にマイク付きカメラ、及び本庁舎電話交換機内に通話録音装置を設置し、対応状況を記録するシステムを導入しています。
②	公用車にドライブレコーダーを設置	事故などの正確な事実の把握や、職員の安全意識、マナーの向上などを目的として、公用車にドライブレコーダーの設置をしています。また、走行中に遭遇したトラブルなども記録できるため、「動く防犯カメラ」として地域防犯に活用しています。
③	生活道路交通安全対策事業	交通ビッグデータ（ETC2.0 プロブデータ）を活用して、交通事故等が発生している箇所や潜在的な危険箇所を特定して、効果的な交通安全対策を進めています。
④	いちのみや健康マイレージアプリの導入	市民の健康づくりを推進するため愛知県と協働でアプリを運営しています。2024 年度の参加期間（2025 年 3 月 14 日（金））をもってサービスの提供を終了しました。
⑤	例規検索システム	市例規の制定改廃のデータを更新し、市ウェブサイトで公開しています。
⑥	環境施設管理システム	環境保全課が所管している複数の法令に関する工場・事業場の情報を、一つのシステムに登録しています。提出する必要がある届出書や指導の内容を一元化して把握できるため、円滑に対応できます。また、届出書や立入検査の集計作業に役立っています。
⑦	河川等水位情報	近年のゲリラ豪雨や台風による浸水被害の軽減を図るため、民間のクラウドを利用した「河川等水位情報」により、市内各地の河川の水位・雨量をリアルタイムに把握し、市民の方へ情報提供しています。 2025 年度にシステムを再構築し、より使いやすいものに改善します。

○一宮市 DX 推進計画

2022年2月 策定・公表

2023年5月 改訂

2024年3月 改訂

2025年3月 改訂

愛知県一宮市

総務部情報システム課

〒491-8501

一宮市本町2丁目5番6号

電話 0586-28-8670

FAX 0586-73-9214

Eメール joho@city.ichinomiya.lg.jp